



にじのはし幼稚園 園だより



令和7年2月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 飯田美弥

ついこの間年が明けたと思ったら、もう2月の足音が近づいています。よく、「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われますが、長年幼稚園に勤めていますと、3学期は本当にあっという間だなと思います。それと同時に、ぎゅっと凝縮された時間の中で、子どもたちの成長を感じる場面が多くあり、この時期は「1カ月が40日あればいいのに」なんて職員同士で話すこともあります。子どもたちにとっても、職員にとっても、今年度の残りの日々をかみしめながら過ごす日々です。特に、5歳児にとっては、もうすぐ一年生になるといううれしさと、幼稚園で過ごす日々が残り少ない寂しさが入り混じる時期なのではないでしょうか。そういう日々を大切に過ごせるよう、ご家庭でも日々の体調管理をしていただいていることに感謝しています。

2月の大きな行事としては、豆まきとにじっこコンサートがあります。豆まきは、節分の日に行うのが通例ですが、今年の節分は2日であること、その前の登園日はまだ1月であることから、園では3日に豆まきを行うことにしました。各クラスで鬼のお面をつくっていますが、こういう行事がなければ、「鬼」というものに触れたり、考えたりする機会もないかもしれません。自分の中にある追い出したいものを意識し、なりたい姿をイメージする機会が、春を迎える前にあるというのは素敵なことだと感じます。そして、鬼のお面をつくるという経験もまた、これまでの経験を活かしたり、新しい経験を取り入れたりする中で、イメージを形に表現する楽しさを味わうものだと思います。

にじっこコンサートは、これまでの園生活の中で、歌ったり楽器遊びをしたりした経験を、お家の方に観てもらえる機会となります。遊びの中でも歌を口ずさんでいたり、楽器を鳴らしていたりするにじっこたちです。また、先日園でビオラコンサートを行った後には、自作の楽器で演奏する“ビオラ奏者”がたくさん現れました。コンサートに向けての意欲は日々高まっています。当日、発表する演目は限られていますが、その曲の前に数々の歌や音楽とかかわってきた日々があったことを考えると、短い時間の中にもたくさんの成長を感じられるような気がします。『幼稚園教育要領解説』の中で、「大切なことは、正しい発声や音程で歌うことや楽器を正しく上手に演奏することではなく、幼児自らが音や音楽で十分遊び、表現する楽しさを味わうことである。」と示されています。幼児期において、様々な形で表現する活動を経験することが、将来表現する楽しさを味わうことにつながっていきます。にじっこコンサート当日は、是非その根っこの部分を一緒にお楽しみください。

幼稚園経営計画 3 幼稚園経営の方針 <主体性を発揮する子ども>からの抜粋

<主体的に遊びや生活に取り組む子ども>

- ① いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ子ども
- ② 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ子ども
- ③ 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ子ども

